

86&BRZ Specifications Check

JGC開幕戦に登場した13台を徹底解剖！

本戦はすでに昨年の中部ジムカーナ選手権に86で参戦を行っている。セッティングもかなり煮詰めてきた。デビュー戦となった全日本ジムカーナ鈴鹿ラウンドでは、残念ながらドライビングミスも重なり5位という結果に終わっているが、松本の実績とテクニックを考慮すれば、今後の成績には大いに期待できる。

松本車はSA-3の津川信次車もメンテナンスを行っているアーチェントが手がけたマシンだ。サスペンションは全日本ジムカーナでもかなりのシェアを誇るスバーオーリングスのダンパーにアイバッハ製スプリングを組み合わせている。仕上がり具合ですか？ 手ぬれは十分に感じていますよ。基本的にかなりいいどころまで仕上がっていいると思っています。ただ、相手は山野さんや森嶋ですからね。山野さんの実力はすでに折り紙つきです。森嶋は今年から86に乗り始めたとは言え、練習の虫になつてかなり乗りましたと聞いています。その意味では決して気は抜けないですし、なんとかシーソーを通して三つ巴の戦いができるはいいなと思っています」

今回の取材でもスバーオーリングスのシェアは多かつたが、山野も森嶋も使用しているサスペンションは異なったマテリアルだ。しかも使用するタイヤメーカーも松本のダンロップに対し、山野がブリヂストン、森嶋がヨコハマと三者三様。今回の松本の結果は残念だったが、バイロンターナーを犯した第1ヒートのタイムはペナルティを差し引けばベストタイムだったことを考えれば、松本車のセットアップはかなりのレベルに到達していると思つていいだろう。

タイヤに関しては、ウエット路面では215/45 R17のZII 86スペックがいい

TMA規定に照らし合わせると外径がわずか3mmだけ規定範囲を超えてしまう。86には使用できないので注意したい。

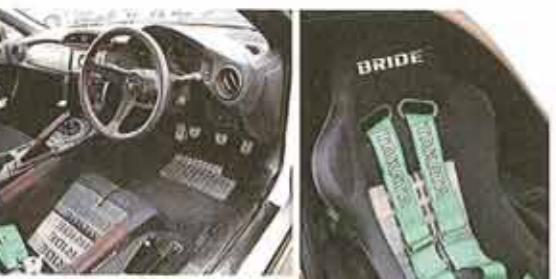


ダンパーはアジュール川村徹がリースしているジムカーナ界では最多シェアを誇るスバーオーリングス。これにアイバッハ製スプリングを組み合わせた。リヤにはヘルバースプリングも使用。

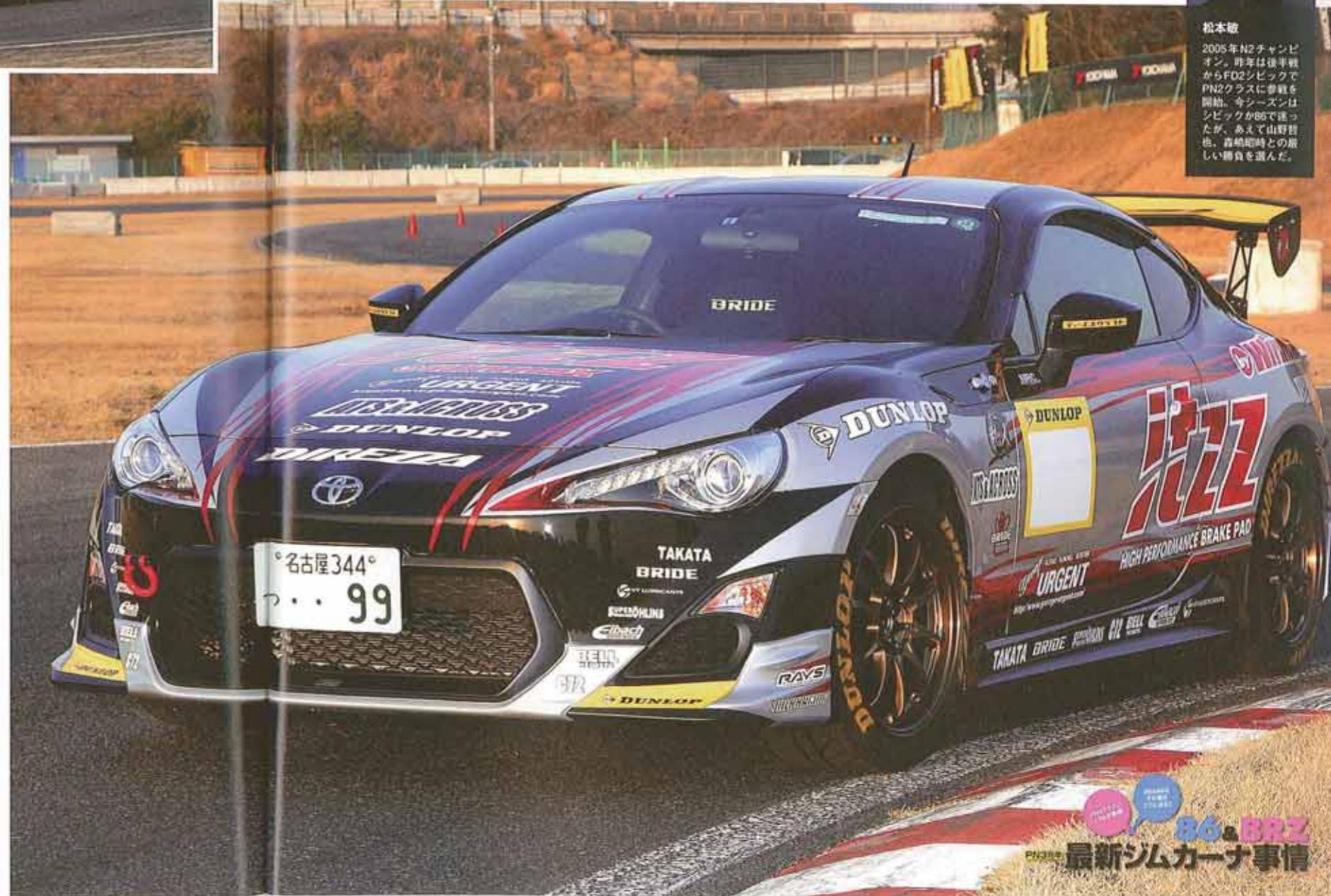
ブレーキはカラーリングを見ても一目瞭然だが、サポートを受けているItzzを使用。ABSに苦労している選手もいるが、松本の場合は問題なくセットアップ。

「ジムカーナは見た目の格好よさも重要」ということでエアロパーツも装備。リヤウイングは乱入ブランドでお馴染みのエアロテックジャパン製。フロントリップやサイドステップはTRD製だが変更予定。

Specifications	
ダンパー／スプリング	スバーオーリングス／アイバッハ
パワード(F/R)	10/10
ブレーキメーカー／タイプ(F/R)	Itzz
ブレーキシュー／タイプ	Itzz メーカーおすすめ
ブレーキルード	Itzz DOT5
LSDメーカー／作動方式	ATSカーボン／IWAY
イニシャルトルク(kg-m)	10
かぶ角(度)	55
エンジンマウントメーカー	リゾル
ホイールメーカー／純柄	レイズ／CE28
サイズ(F/R)	17x8.5J(前後)
タイヤメーカー／純柄	ダンロップ／ZII
サイズ(F/R)	225/45R17(前後)
エンジンオイル／粘度	VTルブリカンツ／0W30
ミッションオイル／粘度	VTルブリカンツ／75W90
デフオイル／粘度	VTルブリカンツ／#120
クラッチメーカー／純柄	ノーマル
ステアリングメーカー／純柄	ナルティ
その他	エアロテックジャパンのGTウイング、プリドのシート、TRDエアロ3点セト



ベース車両は中間グレードの「G」にオプションで4,100ファイナルを装備。室内装備ではステアリングにナルディ・ディープコーン、パケットにはブリッド、ベルトはタカタを採用している。



松本敬
2005年N2チャンピオン。昨年は後半戦からFD2シビックでPN2クラスに参戦を開始。今シーズンはシビックが86で迷ったが、あえて山野哲也、森嶋拓との厳しい勝負を選んだ。

Itzz☆DL☆URG☆86

手応えは感じているがさらにセットアップライバルが強力なだけに気は抜けない

86&BRZ 最新ジムカーナ事情